

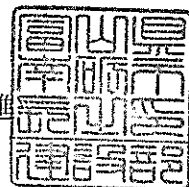


土木第68号

平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

南砺市長 溝口 進



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付、国道企第114号で照会のありました標記の件につきまして、
以下のとおり回答いたしますのでよろしくお願いいたします。

中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

◎ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

南砺市は平成16年11月1日に4町4村で合併し、琵琶湖に匹敵する広大な面積668.86km²を管轄する大きな市となりました。また、南砺市は新庁舎を建設せずに分庁舎方式で行政運営を行う方針を示し、そのデメリットを、市民とも整備効果を共有すべく情報インフラや幹線道路網の整備を強力に推進することによって補う方針を打ち出しました。このことは、平成16年4月に8町村長で麻生総務大臣を訪問した際に、「全国で最も理想的な合併である。」とお褒めをいただきましたところであります。



四月九日、総務省の大臣室を訪れた八町村長。大臣から「全国でも最も理想的な合併である。」と嬉しい言葉を頂きました。

麻生総務大臣に
合併協定の報告

平成16年4月発行

「砺波地域合併協議会だより」から

ところが、合併前にその幹線道路を合併支援道路として位置づけ、強力に整備することを申し合わせたにも関わらず、以降、その合併支援道路（国・県道）は一向に整備が加速せず、合併前と何ら変わりが無いどころか、他事業と同様に扱われ、規模縮小の一途となっているのが現状であります。

このように、当時合併を推進する部署との間において、8町村長の熱い思いを込めて結ばれた合併支援道路整備計画は、今日においても国土交通省事業に全く活かされることが無く、市民からは込められた期待の大きさの反動から、「何のための合併だったのか」と裏切られた感情を露わにする声が、日を重ねるごとに増えている状況であります。

合併して約2年と6ヶ月、市民の地域間交流は益々活発化し、多くの市民が市内を移動する様になりました。合併支援道路の整備拡幅の加速化は、南砺市の切なる願いであります。所管省庁の壁を越えて、積極的な事業展開を希望いたします。

◎ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

今や道路事業をとりまく環境は、特に高速道路の民営化に端を発し、効率化の一言に邁進する状況にあります。しかしながら、地方における高速道路網整備の必要性は、都市部との格差が顕著になればなるほど悲痛な叫びとなってきております。特に全線開通を間近に控えた東海北陸自動車道の整備効果には、富山県内はもとより近隣県を含めて、都市・地方間格差の是正に大きな期待が込められています。

さらに、世界的に比較してもIC（インターチェンジ）間隔が広いことから、スマートICを設置する動きが具体化しておりますが、費用便益比率（B/C）に比重が傾きすぎており、さらにPAやSAの無い箇所において、本線直結でのスマートICの整備を計画しても、ハードルが高くなりすぎ、高速道路網の整備から受ける地元振興効果が半減する恐れがあります。

高速道路網整備効果の地方配分を一層高めるためにも、現在のB/Cに傾斜したIC整備計画から、地域振興策としての整備指針を盛り込むことを切に希望するものであります。また、IC設置には暫定2車線の場合、安全性の向上と混雑解消を目的に早急に4車線化することが必要と考えますので、併せて要望いたします。

◎ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

その他、地方における道路整備に対する期待は依然として高く、特に全面積の８割を山間地で占める南砺市においては、その果たす役割と整備効果が絶大であることは言うに及ばない状況にあります。

特に、庄川水系利賀ダムはその流域市の治水と都市用水供給を目的とした必要不可欠なダムで、この建設のための「利賀バイパス」の整備完了や、さらに延伸して市街地と結ぶ「八乙女バイパス構想」の実現、金沢市街地と南砺市そして東海北陸自動車道を結ぶ「金沢福光連絡道」の実現など、広域連携の主軸となる幹線道路の整備が強く求められています。世界遺産を有する南砺市としては、観光・広域交流にも力を入れており、周遊コースの確立のためにも大きな期待を寄せているところであります。

また、一方では合併を期に、合併特例債を活用する等により、これまで冬期間の除雪車両が通行不能であったような狭隘な生活道路を、道路拡幅してほしいというニーズも依然として高く、生活に密着したエリアの道路整備も強く望まれています。

したがって、地方においては、「道路整備は完了した」等という発言には程遠い状況にあり、B／Cにのみ傾斜した道路整備指針から脱却し、これまでどおり、地域振興を趣旨とした道路整備を積極的に導入していただくことを切に希望いたします。そのことは、ひいては今後ますます顕著になると考えられております都市との格差について、是正・補完する作用を持つものになるものと思われれます。

また、国民の生活基盤となるインフラ整備や維持管理を、採算性のみに偏って判断することは、全体的なインフラそのものの劣化速度を速め、かつ、これまで培われてきた高度な土木技術の低下を招くものであり、ついでには国家的な長期的損害となるものです。今一度、国民生活に直結する社会インフラ整備・維持管理の方向性について、長期的な視点に立って真にあるべき姿を問うものであります。

以上、中期的な道路整備計画を策定するにあたって、意見を述べさせていただきました。ご検討の程、よろしくお願いいたします。